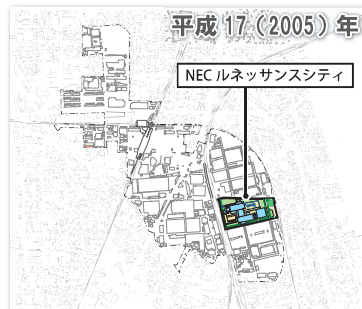


# まちづくりの変化

## まちづくりの進展

### ～平成17(2005)年

- 平成6(1994)年に、最初のまちづくりの構想として、「小杉駅南口地区まちづくり構想」を策定しました。
- NECルネッサンスシティの整備が始まり、平成12(2000)年にサウスタワー、平成17(2005)年にノスタワーが完成しました。
- 武蔵小杉駅南口地区や小杉町3丁目地区では市街地再開発事業準備組合が設立され、事業に向けた検討が始まりました。



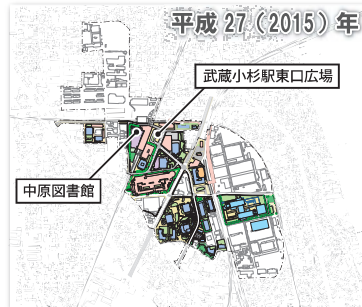
### ～平成22(2010)年

- 複数の大規模な土地利用転換が見込まれる中で、平成21(2009)年3月には「川崎市都市計画マスタープラン小杉駅周辺まちづくり推進地域構想」を策定し、各種事業等を適切に誘導していくための指針を示しました。
- 平成22(2010)年3月に開業したJR横須賀線武蔵小杉駅周辺において民間開発が進み、都市型住宅や業務施設などが順次竣工しました。
- また、都市計画道路武蔵小杉駅南口線の開通や中丸子地区幹線道路が全線開通するなど、民間開発の中で駅へのアクセス道路等の都市基盤整備が進みました。



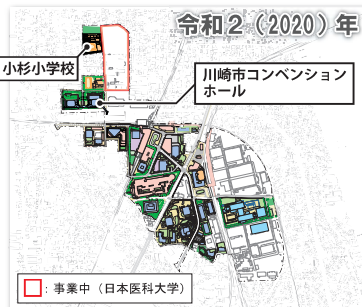
### ～平成27(2015)年

- 武蔵小杉駅周辺ではグランツリーやららテラス等、大規模商業施設が開業するとともに、平成25(2013)年には中原図書館が開設するなど、駅周辺の魅力が高まりました。
- また、平成26(2014)年には武蔵小杉駅東口広場の供用が始まり、交通機能や防災性の強化が図られたほか、拡幅された綱島街道の一部供用が開始されました。



### ～令和2(2020)年

- 駅北側の地区で開発が進み、小杉町2丁目地区では川崎市コンベンションホールが商業・住宅との複合開発により開設し、小杉町1・2丁目地区では川崎市立小杉小学校を開設したほか、「医療と文化の核」を目指した整備を進めています。
- また、駅南側では、小杉町3丁目東地区が令和2年に完成する予定となっており、駅周辺のより一層の魅力向上と、国道409号から駅を抜けて綱島街道までつながる地区幹線道路の完成によるアクセス性の向上が期待されます。

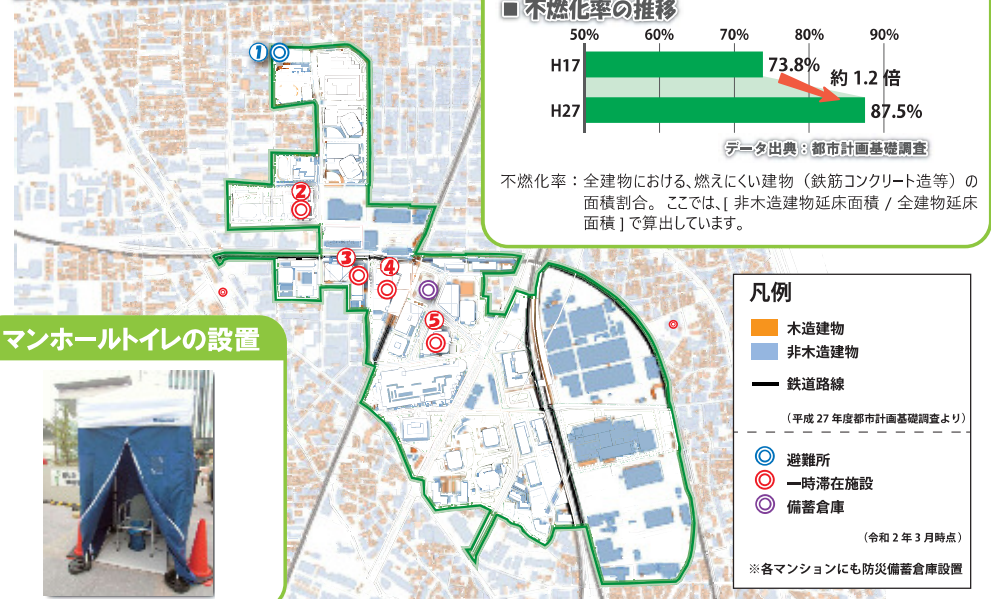


## 地域の防災性が向上

開発の進捗により、建築物の不燃化・耐震化が図られるとともに、道路や広場、緑地など、**延焼を抑制する空間が整備**されました。また、大規模災害時における安全確保に向けて、鉄道事業者、民間企業、行政機関等、駅周辺の関係者が主体的に関わる「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」を策定し、**避難所**として小杉小学校を新設したほか、**帰宅困難者一時滞在施設、備蓄倉庫**なども設けられました。高層マンションにおいても**防災備蓄スペース**の設置や、**防災対応トイレ**の設置を推進しています。

このことによって、**地域の防災・減災性能が向上**しています。

図：平成27年度都市計画基礎調査より作成



### マンホールトイレの設置



### 災害時には様々な来街者を受け入れることが可能に

